

# R による線形混合効果 (LME) モデルを使った反応時間実験データの分析法



反応時間パラダイム(reaction time paradigm)を使った実験の反応時間 (ミリ秒) および正誤 (0と1) データの分析には、線形混合効果(linear mixed-effects, LME) モデルが使われることが多くなりました。そこで、今回のワークショップでは、R を使って、一般的な LME の分析法を紹介します (分析の手順は今回紹介する方法ではありません)。①分析前の Excel による反応時間と正誤判断データの編集、②RStudio の基本設定 (作業ディレクトリとファイルの取り込み) ③変数の対数および逆数変換と有効性の検討、④LME の基本概念 (固定変数とランダム変数)、⑤LME の分析コマンドと交互作用、⑥LME のモデル検討、⑦LME の結果報告、⑧その他の LME に関連したコマンド、です。90 分の 2 コマ (180 分) で紹介します。あくまで LME の分析の基本的な解説ですので、R 自体の講習会ではありません。なお、参加者は R および RStudio をインストールしたラップトップ・コンピュータをご持参ください。講習会の後で、5 時から近所のイタリアン・バルで懇談会を予定しています。ぜひ、こちらにもご参加ください。

参加は自由、資料代は 1,000 円、予約の必要はありません。

日時: 2017 年 4 月 22 日(土), 13:00 - 16:30(30 分の休みを含む)

場所: 名古屋大学教養教育院 405 号室

[http://www.nagoya-u.ac.jp/upload\\_images/campus\\_map\\_jp.pdf](http://www.nagoya-u.ac.jp/upload_images/campus_map_jp.pdf)

地図 B4 のビル

講師: 名古屋大学教授 玉岡 賀津雄

問い合わせ: [tamaoka@nagoya-u.jp](mailto:tamaoka@nagoya-u.jp)



地下鉄駅からの会場案内:  
地図に示したように、名城線名古屋大学駅 1 番出入口から、右側へ直行してください。会場まで徒歩では 5 分くらいかかります。

会場(405)  
はココ



豊田講堂